

卒業研究テーマ
野口英世青春広場と通りの再生デザイン
～歩きたくなるまちに～

インテリア 柴崎ゼミ
A2201023 船尾さやか

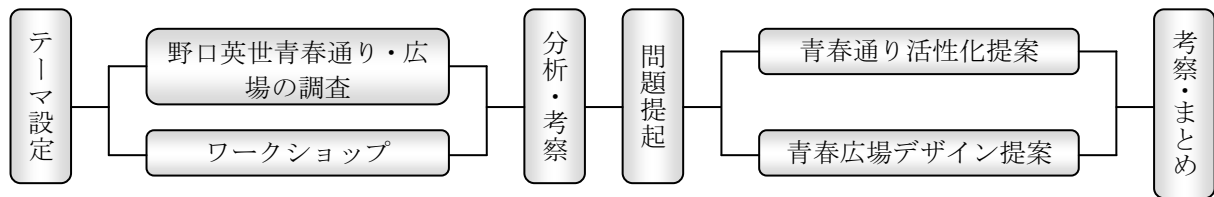
◆概要

野口英世青春通りは野口英世ゆかりの建物が点在している歴史ある通りである。現在、野口英世青春広場に鐘を設置する計画が持ち上がっており、野口英世青春通り協議会から鐘を中心に広場と通りの活性化の依頼があった。これを機に広場と通りのあり方を見直し、鐘を設置するストーリーとともに青春通りの活性化のきっかけをつくる。

◆背景・目的

野口英世青春通りは会津若松市の中心市街地に存在しているが、主に観光客向けのまちづくりが進められており地元の人々は通行目的で利用することが多い。道が繋がっている大町通りや七日町通りでも観光客向けのまちづくりが進められているが、これらの通りよりも青春通りの方が交通量、人通りが少ない。そこで、青春通りにも足を運んでもらえるような、観光客にも地元の人々にも親しまれるような案を提案する。

◆研究方法



◆調査結果

● 建物分類調査

青春通りの通りに面している建物のほとんどは商店となっており、マンションやアパート、一軒家など人が住む建物が極端に少ないため、青春通りの居住人数はとても少ないと推測される。駐車場はスーパーや企業の駐車場、契約駐車場がほとんどで、青春通りの商店を利用する人のための駐車場は無い。空き家はレンガ通りを過ぎてから駅に向かうに従って多くなっている。



● 交通量調査

会津若松商工会議所が平成 23 年 7 月 22 日(金)、24 日(日)に若松市内の 21 か所で交通量調査を行った。震災に伴う被災者の増加も要因のひとつと考えられるが、全体的に車両・歩行者共に増加の傾向にある。しかし野口英世青春通りのジュエリーオースカ前で行った結果は、車両に関しては、平日・休日ともに過去十年間で最低の結果となった。対照的に、休日の歩行者に関しては、二年前より緩やかに増加傾向にある。平日と休日では車両・歩行者共に平日のほうが通行量が多い。

● 定点観察調査(ビデオカメラによる観察調査)

9 月 24 日(土)と 26 日(月)の休日と平日の午前 7 時から午後 7 時までの 12 時間、ビデオカメラによる観察調査をホテルニューパレスさんご協力の下行った。青春通りと青春広場の入り口が確認できる位置にビデオを設置し、青春通りの交通量、歩行者と広場の利用者数の観察をした。車両は会津若松商工会議所が行った交通量調査とあまり変わらないものになったが、歩行者と青春広場の利用数は休日のほうが多い結果となった。その要因として、23 日から 25 日までに会津まつりが行われていたことが考えられる。



● ワークショップ

野口英世青春通りを利用する高校生や主婦の方々の若い層の市民の意見を聞き、野口英世青春通りの問題点を認識することを目的としたワークショップを行った。

➢ 第 1 回 (7 月 29 日)

観光客ばかりに目を向けているので地元の人々が楽しめるようなまちづくりをしてほしいとの意見が多かった。実際に青春通りのお店をよく利用する人もあまりみられなかった。

➢ 第 2 回 (9 月 3 日)

高校生のみでのワークショップだった。レンガの雰囲気可愛いので他県の友人に自慢できるとの意見が出た



一方で、建物自体は暗いイメージだという意見も出た。どんなお店かわかりづらいこともあり学生には入りづらいお店が多く、大半の学生は青春通りのお店ではなく近くのドトールやプロント等に入ってしまうことがわかった。

◆分析・考察

野口英世青春通りは一部レンガ通りで雰囲気も良く、人も車もまったく通らないわけではない。それでいてあまり活性化していないように感じるのは通りにある建物を目的とせず、通行することが目的である人が多いからであると思う。このためか、野口英世青春広場には人の出入りがとても少ない。その原因として、観光客向けのまちづくりになっているために地元の人々向けの商店が少ないことや、若い学生達にとって入りづらい雰囲気であること、駐車場が無いために車で来ることができないことなどがあげられる。したがって青春通りに来ることを目的とできるようなまちづくりが重要であると考えられる。

◆提案

● 野口英世青春広場のリデザイン提案

(1) プライド・プラットフォーム

野口英世青春広場のウッドデッキ上に鐘とブリックウォールを設置する。ブリックウォールは青春広場に訪れた人たちの名前をレンガに彫って積み上げていき、鐘はブライダルやブリックウォール刻字設置時に鳴らす。

(2) YAE・ブライダルロード

野口英世青春広場から栄町協会までの道を挙式時に町全体で飾り付けて野口英世青春通り全体で祝うための道として位置づける。栄町教会で挙式し、レンガ通りを歩いて青春広場に移動して鐘を鳴らしてもらう。

● 野口英世青春広場を拠点とした通りの活用デザイン提案（共同研究）

(1) 回遊路と初恋の小径

青春広場からあらゆる道への回遊路を計画する。野口英世青春広場に設置してある野口英世像から回遊路に道を繋げ、青春広場を青春通りの拠点として位置づける。路は野口英世青春通りと同じようにレンガを用いて計画し、路の両脇にはレンガづくりの小さな店を置いたり、色彩を利用した看板をつくり回遊路をわかりやすく通れるように計画する。

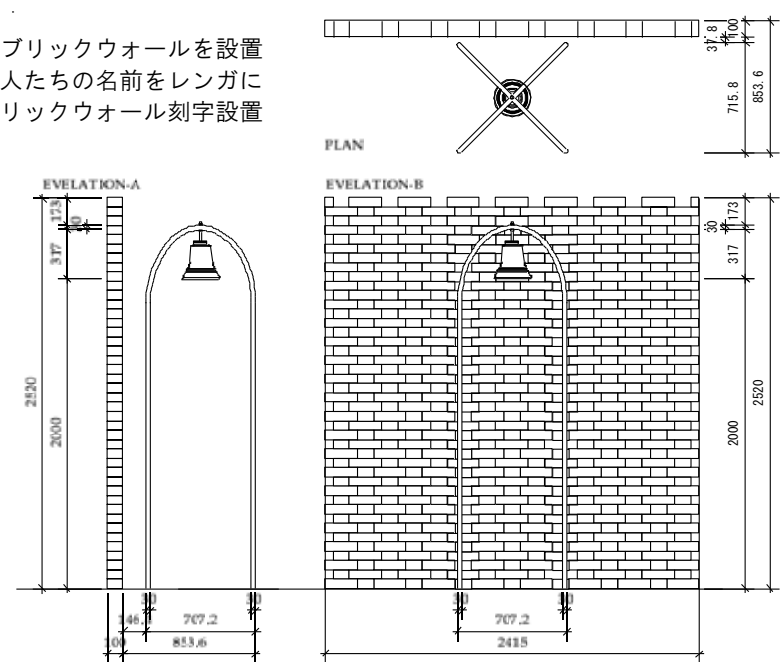
(2) パーキングパーク

野口英世青春通りにある大きな駐車場を利用し、車も止められてかつ遊ぶことができるパーキングパークを計画する。景観に配慮し、駐車スペース一台一台の間に樹木を植える。大きな駐車場を設けることで、従来よりも青春通りに立ち寄りやすくなる。

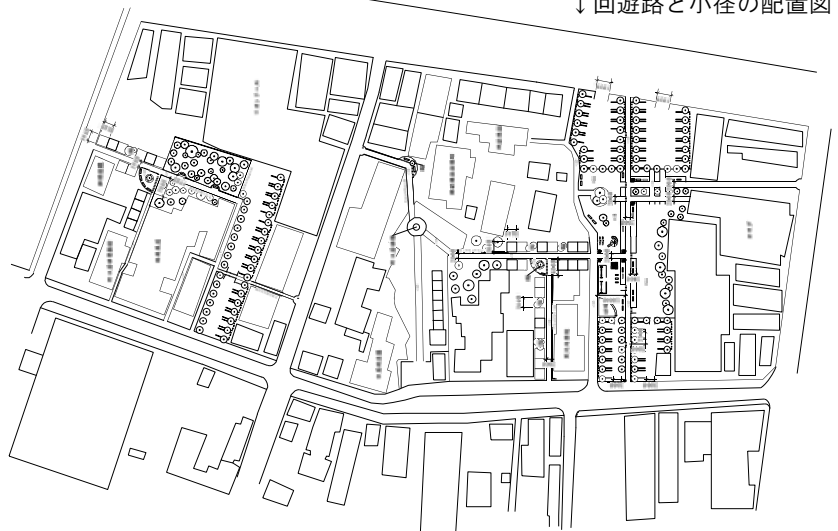
(3) 野口英世青春通りのブリックライト・ブリックベンチ・ブリックディスプレイの提案

野口英世青春通りの商店に共通して設置する、ブリックライト・ブリックベンチ・ブリックディスプレイをデザインする。青春通りの商店に統一感を持たせ、ディスプレイによってわかりやすく、雰囲気づくりをする。

↓ 鐘の設置提案の図面



↓ 回遊路と小径の配置図



◆考察・まとめ

この研究をして、野口英世青春通りはレンガ敷きであり、軽食がとれたりするお店もあり、歴史がある建物もあり、歩いて散策するのが楽しい通りだと感じた。観光客も地元の人も青春通りを車や自転車で通るだけではなく、散策したり遊んだり、もっと身近なものに感じてほしい。この研究を行うことで青春通りを歩く楽しさを知ってもらい、観光客にも地元の人々にも親しまれ、さらに会津若松の活性化の起点になってほしいと考えている。